

「論点整理」における指摘事項

新しい学習指導要領が目指す姿

「社会に開かれた教育課程」の実現
育成すべき資質・能力の明確化とそれを
踏まえた教育課程の構造化
アクティブ・ラーニングの視点からの学習・
指導の不断の改善
学習評価の改善

学習指導要領等の理念を実現 するために必要な方策

カリキュラム・マネジメントの実現
教員の資質・能力向上と、地域との連携・
協働、チームとしての学校の在り方の実現
等、必要な支援方策

各学校段階、各教科等における 改訂の具体的な方向性

各学校段階の教育課程の基本的な
枠組み、学校段階の接続
各教科・科目等の構造・内容の見直し
(高等学校の科目構成の見直しを含む)

現在の検討の進捗状況

以下の項目について各校種別部会等・各教科等別ワーキンググループ等で検討中

1. 現行学習指導要領の成果と課題
2. 育成すべき資質・能力を踏まえた教育課程の構造の在り方とカリキュラム・マネジメントについて
3. 育成すべき資質・能力を踏まえた教科等目標と評価の在り方について
 - (1)教科等の特質に応じ育まれる見方や考え方
 - (2)小・中・高を通じて育成すべき資質・能力の整理と、教科等目標の在り方
 - (3)資質・能力を育む学習過程の在り方
 - (4)「目標に準拠した評価」に向けた評価の観点の在り方
4. 資質・能力の育成に向けた教育内容の改善・充実
 - (1)科目構成の見直し(該当する教科のみ)
 - (2)資質・能力の整理と学習過程の在り方を踏まえた教育内容の構造化
 - (3)現代的な諸課題を踏まえた教育内容の見直し
5. 学習・指導の改善充実や教材の充実
 - (1)特別支援教育の充実、個に応じた学習の充実
 - (2)「深い学び」「対話的な学び」「主体的な学び」に向けた学習・指導の改善充実
 - (3)教材の在り方
6. 必要な条件整備等について